

平成 27 年度「高校生による中山間地域わくわく事業」  
地域活性化プラン発表会開催

○ 日 時

平成 28 年 2 月 5 日（金） 12：40～17：00

○ 会 場

サテライトキャンパスひろしま（広島市中区大手町 1 丁目 5 番 3 号）

○ 参加者

関係県立高等学校の生徒（113 名）、教職員（46 名）、関係市町及び地域の方々（26 名）

○ 日 程

12:40～12:50 開会行事



12:50～13:50 発表①（8校）1校5分×8，講師から講評15分，発表準備5分

発表順	学校名	プラン名	概要
1	音戸高等学校	見つめる，考える，行動する in 音戸の瀬戸	・音戸町の現状と地域活性化に向けた取組から，地域の課題を見付け，課題解決を図る。
2	加計高等学校	あったかいんだから～♪ 特別な安芸太田	・インバウンドマーケティングにもとづく新しい情報戦略と観光振興を図る。
3	加計高等学校 芸北分校	天下分け目の雪合戦 in 芸北～会場雪上 ここに誕生 舞台は北国北広島～	・芸北にある資源（自然，ひと，文化）を活用した高校生による地域活性化プランの構築，子プロの新プログラムのモデル事業として，高校生が「雪合戦」の運営に挑戦する。
4	三次高等学校	ちょうどいい三次発信	・生徒が三次の町を自らガイドする外国人向け観光ツアーを実施する。
5	日彰館高等学校	吉き舎り（よきやどり）出会い・ふれあいプロジェクト	・後鳥羽伝説探究プロジェクト：後鳥羽伝説ゆかりの観光スポットの整備とイベントプランを作成する。
6	三次青陵高等学校	県北再発見 探ろう県北の良いところ 見つけよう県北の可能性 作ろう県北の新しい文化	・三次市を中心にフィールドワークを行い，自分たちでアイデアを出してプランを作成する。
7	庄原実業高等学校	MOO JOB（ムージョブ）～ウシの調教を通してわくわく里山探究～	・高校生が，和牛を飼育されている農家等を訪問したり，祭りやイベント等で交流したりして，「農宝」として大切にされてきた比婆牛を通して，地域を再発見していくとともに，地域の魅力を発信していく。
8	大崎海星高等学校	高校生による地域学習計画案作成「大崎上島学」	・生徒が中心となり，総合的な学習の時間「大崎上島学」の教育内容づくりを進める。

13:50～14:50 発表②（8校）1校5分×8，講師から講評15分，発表準備5分

発表順	学校名	プラン名	概要
9	大柿高等学校	「江田島ポプリ」商品化プロジェクト ～高校生による島の特産農産物・特産品の活用～	・江田島市の地域資源の3つの「F」（フルーツ・フラワー・フィッシュ）を活かした商品開発（柑橘類と花を活用したポプリの作成）及び販売活動を実施する。
10	千代田高等学校	千代っといけてるわが町プロジェクト	・特産物と伝統芸能によるわが町の良さを知っていただくためのおもてなしについて考案する。
11	吉田高等学校	安芸高田市魅力発信プロジェクト	・安芸高田市の公式LINEアカウントの作成や、高校生の目線によるガイドマップの作成を通して、安芸高田市の魅力を全国へ発信していくプロジェクトを考案する。
12	御調高等学校	みつぎだヨ！全員集合	・高齢者をターゲットにした、御調の5室をつなげる地域活性化の取組による雇用創出を行う。
13	世羅高等学校	「お茶の里世羅」復活プロジェクト	・世羅茶を栽培するとともに、栽培農家との連携を図り、和洋菓子の新商品の開発・販売を行う。
14	油木高等学校	ナマズ養殖による地域活性化への挑戦 ～ナマズカレーパンで地域おこし！～	・ナマズ養殖をととして、「ナマズ文化」を生み出すとともにナマズを加工し商品化を図る。
15	瀬戸田高等学校	「巡り人」から始める瀬戸田ツーリズム	・サイクリストや観光客を惹きつける、体験プログラム等のコンテンツを制作する。
16	府中東高等学校	「緑いっぱい」「夢いっぱい」「真心いっぱい」 ～府中東高校生による市民おもてなし計画～	・学校の特色を生かし、府中市民や観光客を「ものづくり」でおもてなしする。

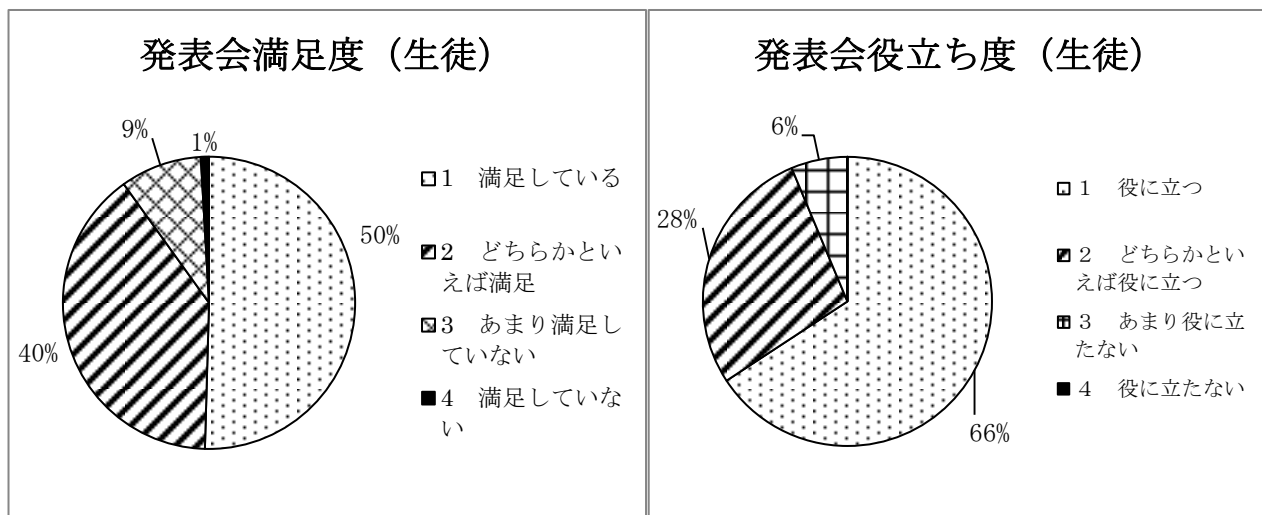
14:50～15:50 発表③（8校）1校5分×8，講師から講評15分，発表準備5分

発表順	学校名	プラン名	概要
17	向原高等学校	MMMプロジェクト（祭りの町 in 向原）	・町で行われるイベントの企画・運営に参画する。
18	上下高等学校	“あやめちゃん”わくわくプロジェクト	・地元企業との協働による酒造りに係る体験的な学習及び販促のためのマーケティングとアピール方法の考察・提案する。 ・ボランティア活動を中心とした地域との連携を図る。
19	庄原格致高等学校	庄原『活性化』プラン	・「庄原よいとこ祭り」へ参画する。 （毎年8月に行われている「庄原よいとこ祭り」の実行委員会に本校のプロジェクトチームが所属し、祭りの中に高校生の企画をたてていく。）
20	東城高等学校	東城町魅力発見・発信プロジェクト 「絶対帰ってくるからね。町を繋ぐ東高生！」	・東城町の観光資源を再発見し、国内外に発信する方法を考える。
21	賀茂北高等学校	十夢物語	・地元企業と連携し、板鍋山マラソンや地域行事への参画、活性化を図る。
22	河内高等学校	地域活動なんでも支援ジャー 心美ちゃん・体健くん お助けプロジェクト	・地域行事（祭）へボランティアとして参画する。 ・特産品の販売促進や観光振興への支援を行う。
23	湯来南高等学校	クアハウス湯の山活用促進会議 （学校が湯来町を元気にする「湯来南温泉同好会」プロジェクト）	・学校家庭クラブが中心となり「クアハウス湯の山」と提携して、クアハウス湯の山活用促進について提案する。
24	西城紫水高等学校	地域との交流・協働活動	・一人暮らしの高齢者との交流を図る。（プレゼント配り） ・町内の清掃活動を実施する。 （「西城町（小中高）連携プロジェクトのクリーン作戦」） ・高校と自治振興区の共催で西城まちづくり学校との交流会を実施する。 ・神楽部による講演を実施する。（西城町神楽愛好会との連携）



15:50～16:20 講演「その一歩が未来を変える」  
講師：株式会社ソアラサービス 代表取締役社長 牛来 千鶴 氏

○ 事後アンケート



【生徒の感想を一部紹介】

- ・他の学校の良い所を知り見直すことが出来る。
- ・他校の行っているプランから別の視点が生まれた。
- ・自分たちの活動以外のやり方が分かった。
- ・他校の意見を聞きアイデアが広がった。
- ・他校のアイデアを知り、自分たちの学校にとって参考になる講演だった。
- ・自分たちがやってないことや新しい意見が聞けた。
- ・今までで一番いい発表ができた。
- ・人前で発表する力が身に付いた。
- ・他の高校の特色を学んでとても勉強になった。
- ・他校のプレゼンが参考になった。
- ・他校と比較し足りない点があるか考えることができた。
- ・他校の発表をみて自分たちと比べることができ、もっとより良いものを考えられる。
- ・他の高校生と仲良くなれた。